

新人議員が地域を巡る 地区自慢

「長野地区」

文化と伝統、神秘的な魅力を感じる長野地区。長野修一区長にお話を聞きました。地区の誇りは、心が洗われるような清々しさを感じる長野阿蘇神社と神楽殿、そして特に強調されたのが、この場所を毎週綺麗にしてくださる「長野老人ひのき会」の皆さまのことでした。なんと毎週火曜日に30名ほどが集まって掃除に取り組まれているとのこと。そんなお元気な年長者の多い長野地区では「村一番の健康長寿地区」を目指し、御年100歳以上の長寿者を10名以上にすることを目標にされています。

さらに長野地区といえば300年以上の歴史を持ち、無形民俗文化財にも登録されている『長野野戸神楽』。近年では継承者不足に悩みつつも、歴史と伝統を守りながら大迫力の神楽を毎年5月・10月に奉納し続けています。



「第4駐在区」



「あそ望の郷」「アスペクタ」「(旧) グリーンピア南阿蘇」など、村を代表する施設が集まる久木野第4駐在区。区長の中島正博さんに地域の自慢を聞くと、次のようにおっしゃいました。「ホテルや施設、人気ランキングトップクラスの道の駅があるが、阿蘇山をバックに広がる田園風景そして神社や白川・南鉄、素晴らしい文化的景観があってこそ」と。そして「久木野の稲作は祖先が約300年前、30年かけて60本の疏水群を整備開削下さったお陰」だと強く想いを語って下さいました。

以前行われていた地域の祭りでは、米の味くらべや水質検査なども実施されるなど、農業を通し地域や村民の活力がみなぎっている様子が目に浮かびました。「米作りそして南阿蘇の田園風景は後世に受け継ぎたい宝物」と改めて認識しました。